



掛合中だより



雲南市立掛合中学校
第6号
2025.5.27(火)
文責 根本登三男

学校教育目標：ふるさとを愛し 自他を大切にしながら たくましく未来を切り拓く生徒の育成



Happy Lunch Time

お弁当のおかずと言え、第1位は圧倒的人気の「卵焼き」です。皆さんのお弁当にも、だし巻き、オムレツ、そばろ、チーズ巻きなどいろいろ入っていました。タコさんウインナーや定番のから揚げも美味しそうです。26日(月)は「お弁当の日」で、いつもとはちょっと違った「Happy Lunch Time」でした。1年生の皆さんは、自分で何品作ったのでしょうか？ 上級生のお弁当をのぞいてみましたが、「黄金比3:1:2」はあまりよくわかりませんでした(笑) でも、ビジュアルは抜群でどれもインスタ映え そうです。2年生はMy手づくり率100%がけっこういました。ちなみに、私は50%ぐらいです。

雲南市の食育!!

～全部まとめて学校教育～



私事で恐縮ですが、料理が苦手というか無精で、単身赴任の2年間は一度もお米を炊いたことがなく、ガスコンロに火をつけたこともありません。スーパーのお惣菜か冷凍食品の生活で、コンビニ弁当はほぼ制覇しました。(←お得意さんになり新発売情報をGet!!) 「食」で苦労したとは思っていませんが、楽しみといえば学校の給食と週末に自宅で食べる晩ご飯でした。そんなこともあって、「お弁当の日」をドキドキして迎えたのは、生徒以上に私かもしれません。

「お弁当の日」がある理由は、雲南市が「食育」を大切にしているからで、「夢」発見プログラムに位置づけられています。3月に制定された「第4次雲南市食育推進計画」の表紙タイトルは、「食は生命(いのち)」。目を通してみると、食育の推進にあたって、行政、生産者、事業所、地域などが果たす役割が書いてあり、学校の大きな役割は、給食を教材として「地産地消」を推進し、「郷土食」を後世に継承していくことです。では、食育の実践で最も大切な場とは？ はい、もちろんご家庭です。習慣化したことを改善するのはそう簡単ではありませんが、私もこれまでの「食生活」について振り返り、健康のためにいくつか見直そうと思っています。

ところで、「食育」という言葉を耳にするようになったのはいつ頃からでしょう？ 学校では、食育基本法が制定され栄養教諭の配置が始まった平成17年以降だと思うのですが、私もはっきりとは覚えていません。ただその頃は、食生活を取り巻く環境の変化や多様化が大きな社会問題になっていたということです。ちなみに、「食育」という言葉そのものは明治時代の後半には既にあったようです。「食べること」が生きる上での基本という思想は今も昔も変わりませんね。



ここからは余談です。学校で学ぶことは全部ひっくるめて「学校教育」でいいと思うのですが、いつの頃からでしょう？「環境教育」、「消費者教育」、「金融教育」、そして「防災教育」等、「〇〇教育」というのが増えてきました。先輩が、「特別な教育じゃない。今までやってきたことを少し特化しただけ。」と言っていました。関係の文書が来ると「担当は誰なんだ!!」とか「全体計画は必要なのか!!」と騒ぎになった記憶があります。今は「DC教育」も特別な教育ではないのですが、ついていけない自分がいて、スキルアップの必要性を感じています(涙)

※「DC(デジタル・シティズンシップ)」は未来を生きる子どもたちには必須の資質・能力!!



ぜひアクセスを!! ～掛合中HPの紹介～

教頭先生に任せきりだったHPですが、私もお手伝いします。校内版「掛合中だより」の発行と同様、今年度の重点目標の「積極的な情報発信」の具体的取組です。



アルバム
Photo

学校生活の様子と給食の献立を掲載します。できるだけ毎日更新しようと思います(^^)／



2025.5.21
Happy Lunch Time



2025.5.21
掛合町全国第10位!!



2025.5.20
中間テスト 1 日前



校長のつぶやき⑥(まるで宇宙!!)

数年前に「火の教育(火育)」というチラシを見た時は、「何だこりゃ!!」と思いました。でも、読んでみると20年位前に私はその教育に携わっていました。火おこしから始まり、葉っぱでくるんだ魚を焼いて食べるという古代人体験の授業です。火のありがたさを語って、及ばずながら豊かな心を育てていました。「火」があればきっと「水」もあるはず。「〇〇教育」の世界はまるで宇宙の広がり。
(つづく)

